

泌尿器科

臨床研修期間(2年間)		
病院名 (59病院)	医療圏	
横浜労災病院	横浜	
昭和大学藤が丘病院		
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		
横浜旭中央総合病院		
菊名記念病院		
汐田総合病院		
昭和大学横浜市北部病院		
済生会横浜市東部病院		
済生会横浜市南部病院		
横浜南共済病院		
横浜栄共済病院		
横浜市立大学附属病院		
横浜市立みなと赤十字病院		
横浜市立大学附属市民総合医療センター		
横浜中央病院		
けいゆう病院		
横浜医療センター		
横浜市立市民病院		
国際親善総合病院		
戸塚共立第1病院		
東戸塚記念病院		
聖隷横浜病院		
帝京大学医学部附属溝口病院		川崎北部
聖マリアンナ医科大学病院		
川崎市立多摩病院		
新百合ヶ丘総合病院	川崎南部	
関東労災病院		
川崎市立川崎病院		
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院		
川崎協同病院		
川崎市立井田病院		
日本医科大学武蔵小杉病院		
川崎幸病院	相模原	
相模原病院		
北里大学病院		
相模原協同病院		
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	
横須賀共済病院		
横須賀市立市民病院		
湘南鎌倉総合病院		
大船中央病院		
藤沢市民病院	湘南東部	
湘南藤沢徳洲会病院		
藤沢湘南台病院		
湘南東部総合病院		
茅ヶ崎市立病院		
平塚市民病院	湘南西部	
平塚共済病院		
東海大学医学部付属病院		
伊勢原協同病院		
秦野赤十字病院		
大和市立病院	県央	
海老名総合病院		
厚木市立病院		
東名厚木病院		
湘南厚木病院		
小田原市立病院	県西	
山近記念総合病院		
神奈川県立足柄上病院		

専門医研修期間(標準3年間)		
基幹施設名(6病院)	医療圏	基幹・連携施設名
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	横浜市立大学附属病院 大口東総合病院 横浜保土ヶ谷中央病院 横浜南共済病院 神奈川県立足柄上病院 横須賀共済病院 横須賀市立市民病院 平塚共済病院 藤沢湘南台病院 藤沢市民病院 小田原市立病院 茅ヶ崎市立病院 さがみ林間病院 秦野赤十字病院 神奈川県立がんセンター 横浜栄共済病院 国際親善総合病院 川崎市立井田病院 横浜市立市民病院 横浜市立みなと赤十字病院 横浜医療センター
横浜市立大学附属病院	横浜	大口東総合病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 神奈川県立こども医療センター 横浜保土ヶ谷中央病院 横浜南共済病院 神奈川県立足柄上病院 横須賀共済病院 横須賀市立市民病院 平塚共済病院 藤沢湘南台病院 藤沢市民病院 小田原市立病院 茅ヶ崎市立病院 さがみ林間病院 秦野赤十字病院 神奈川県立がんセンター 横浜栄共済病院 国際親善総合病院 川崎市立井田病院 横浜市立市民病院 横浜市立みなと赤十字病院 横浜医療センター
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎西部	横浜鶴ヶ峰病院 総合高津中央病院
聖マリアンナ医科大学病院	川崎西部	大船中央病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 日本鋼管病院 川崎市立多摩病院
北里大学病院	相模原	神奈川県立こども医療センター 横須賀市立うわまち病院 湘野辺総合病院 相模原協同病院 相模野病院 東名厚木病院 横浜総合病院 相模台病院 相模原病院
東海大学医学部付属病院	湘南西部	湘南大磯病院 平塚市民病院 伊勢原協同病院

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)				
医療圏2	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
1401横浜北部	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
1401横浜北部	済生会横浜市東部病院	562	当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、参加救急などを行っています。症例数、指導医数も十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えております。当院はすべての診療科を有する病院であり、若い医師の経験と研修に適すと考えます。一方で病診連携や地域医療なども学ぶことができると考えます。	鶴見区、神奈川区の地域中核病院で、救命救急センター中心に24時間365日応需のER型救急医療を提供しています。多数の症例を経験することができ、若い医師の育成ができると考えています。 産科:年間出産数1,319件と多くの出産を行っています。 小児科:24時間体制の診療を行っています。 外科:手術件数5,383件と多くの手術を行っています。 麻酔科:手術件数が多く、心臓手術～日帰り手術まで多数症例があります。 内科:プライマリケア、専門内科的疾患、内科救急など多数の症例を研修できます。 救急科:ER型の救急で、1次～3次救急を行っています。外傷センターも県内で認定されています。
1401横浜北部	菊名記念病院	218	当院は横浜市方東部に位置する中規模病院で、地域に根ざした医療を行っています。神奈川県内の地域医療へ直接寄与する医師の専門医取得といった要望にも応えたいと考えています。医師にとって有益な仕組みを準備すると共に、多くの症例を経験できるように体制を整えています。	当院は、年間約8,000台の救急車の搬送を受け入れている横浜市内有数の救急病院である。2010年には地域医療支援病院の承認を受け、より一層地域医療に力を入れている。横浜市北部医療圏の2次救急拠点病院としてER、循環器センター、脳卒中センターを備え、24時間体制で患者を受け入れ緊急手術にも対応しています。 (1)急性期病院で学ぶ救急医療:当院は救急車搬入件数が年間8,000台前後、1日の平均は20台前後となっている。急病と外傷の比率は7:3となっており、その症状は軽症から重症までさまざまである。病棟よりも迅速な対応と鑑別診断能力が求められるため、自分で考えて進めていく力が身に付けられます。 (2)救急での幅広い経験:長期にわたり継続して救急外来を経験するため、週1回の救急当番制を行うことで、さまざまな症例を診る事が出来ます。
1402横浜西部	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター	726		
1402横浜西部	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
1402横浜西部	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	236	当院は令和2年4月に地域医療支援病院として承認され、年間3,000件以上の救急の受け入れを行っています。また、横浜市立大学の応援を得て総合診療科が精力的に診療を行っており、そのほか消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、外科において若手医師の活躍が期待されます。	当院は、横浜市二次救急医療に携わる病床数236床の急性期病院です。昭和30年の開設で、平成26年に独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院となりました。保土ヶ谷区の中心的病院として医療を提供しており、急性期としてHCU8床・手術室5室・透析23床を備え、内科・外科・整形外科に加え泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科など、多数の診療科で質の高い医療を行っています。 また、地域包括ケア病棟(31床)、訪問看護ステーションを併設しています。

1403横浜南部	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674		
1403横浜南部	済生会横浜市南部病院	500	横浜市南部地域の医療提供体制を維持し続けていくために受入れを希望します。	横浜市南部地域の基幹病院として31の診療科と約150名の常勤医師を擁しており、日々高いレベルの医療を提供しつつ、また同様に高い教育水準を維持しております。 一方、医師働き方改革の対応をはじめ(労働時間と自己研鑽の区別、宿日直許可申請、当直明けの扱い)、他にも妊娠・子育て中の医師の当直免除や短時間勤務制度等の制度が充実しております。パパ育休の取得率が対象者の50%以上いるなど、ライフステージに合わせた専門研修を行うことができます。 なお、当院は横浜市立大学からの派遣医師がほとんどなので、当院を希望する医師については、同じ県内大学同士なので近しいリレーションシップを構築することが可能です。
1404川崎北部	帝京大学医学部附属溝口病院	400	地域への貢献の意志がある意欲的な人材を受け入れることにより、各科の充実を図ることは、当院の理念である「地域にねざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコンディーンズを経験することができます。各科、看護師等の医療スタッフの連携やチームワークもよいです。 また、ロボット手術を導入しており、泌尿器科は全国屈指の症例数です。
1410相模原	北里大学病院	1140	○ 総合診療部指導医数は、1名。総合診療内科指導医数は2名在籍している。(総合診療部) ○ 病院総合診療及び地域診療(在宅を含む)を含めた教育指導体制があり、地域枠医師の希望があれば受け入れたい。(総合診療部)	○ 大学病院内科総合外来における外来研修を受けることができる。(総合診療部) ○ 大学病院総合診療部と連携している在宅診療施設や、療養病院での研修および漢方外来研修や緩和センターにおける研修も可能。(総合診療部)
1407湘南東部	藤沢市民病院	536	—	—
1407湘南東部	医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院	132	慢性的な医師不足、医師の高齢化が顕著なため。	当院は一般急性期132床の中規模病院なので、各診療科の距離が近く、科の垣根を超えた協力体制が医師同士でとられております。初期研修を終え、専攻科をお考え中の先生にゆっくりと将来を見据える時間を取りつつ研鑽が詰める病院だと思っています。
1407湘南東部	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
1407湘南東部	茅ヶ崎市立病院	401	—	—
1408湘南西部	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
1408湘南西部	東海大学医学部付属大磯病院	312		

1411 県西	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、26の診療科を備え、急性期、高度医療や救急、医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病病連携や 病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れています。また、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っています。</p>
1411 県西	神奈川県立足柄上病院	296	<p>県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。</p>	<p>generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で責務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。</p>